

# 「わくわく土曜塾」令和4年度活動概要

主催：わくわく土曜塾実行委員会  
共催：長門市中央公民館運営協議会

## 趣旨・概要

- ふるさと長門のよさを体験することで、故郷を愛する子どもたちの育成に努める。
- 体験をとおして楽しさと充実感を味わわせ、豊かな心と生きる力を育てる。また、多様な人々と出会うことで、コミュニケーション能力の向上をはかる。
- 地域の大人が地域の子どもの学びや育ちに積極的にかかわり、自分たちがもっている経験・特技・知識などを次世代に伝えていく。

## 令和4年度活動一覧 基本活動日時：毎月第2・4土曜日 9:00~11:00

月	日	活動内容	場所	土曜塾以外の協力団体
5	14	開講式&深川中学校でいも苗植え	深川中学校	深川中学校、深川中学校PTA、深川中学校お助け隊、JA
	21	名札作り・ゲーム ※第3土曜日	深川小学校体育館	
6	11	観光船で通地区へ行こう ※11:30まで実施	青海島観光汽船乗り場(仙崎)→通地区	長門市観光コンベンション協会、青海島観光汽船、通ガイド会、くじら資料館、通公民館
	25	タグラグビーをしよう	深川小学校体育館	長門市ラグビーフットボール協会
7	9	シーカヤック体験【親子参加】 ※12:00まで実施	油谷青少年自然の家	油谷青少年自然の家
	23	美祢線に乗って渋木に行こう ★美祢線運休・新型コロナウイルス流行のため中止	長門市駅→渋木	クラブネッツ大畑
8	27	公民館まつりの作品づくり・ゲーム ★新型コロナウイルス流行のため中止	深川小学校体育館	中山地区サロン
9	24	公民館まつり(各自自由参加)	長門市中央公民館	
10	8	長門の森で遊ぼう	赤崎山	NPO法人人と木
	22	深川中学校でいもほり	深川中学校	深川中学校、深川中学校PTA、深川中学校お助け隊、JA、中山地区サロン
11	19	花尾山に登ろう【親子参加】 ※第3土曜日、14:00まで実施	花尾山	クラブネッツ大畑
12	10	クリスマス会 ※11:30まで実施	長門市保健センター	
1	28	ニュースポーツをしよう	深川小学校体育館	長門スポーツ推進委員
2	25	ヒストリアながとで昔の道具体験	ヒストリアながと	ヒストリアながと
3	11	修了式&お別れパーティー	深川小学校体育館	

## 成果と課題 ～今後の展開展望～

### 成果

新型コロナウイルス流行等により、活動が2回中止になったが、子どもたちに様々な体験学習の機会を提供できた。シーカヤックや登山、森遊びで長門市内の自然を活かした体験をし、観光船で通地区へ行き現地のガイドの皆さんから説明を受けたり、タグラグビー等長門で力を入れているスポーツの指導を受けたりと、地元で活躍する大人の方々から学ぶ経験もできた。また、地元の中学校や高齢者サロンの協力や活動の手伝いをするボランティアスタッフに土曜塾に参加した経験のある高校生が加わり、多世代で交流する機会もできた。

### 課題と今後の展開展望

公募による今年度の市内小学生の参加人数が30名で、50名程度参加していたコロナ禍前より減っている。土曜塾スタッフの高齢化や少子化に伴い最大定員数を40名に減らしているが、新型コロナウイルス等の状況に合わせながら、より子どもたちにとって魅力的で充実した内容を考えていくことが求められている。

来年度は「長門市内の仕事」にスポットを当てて、引き続き市内で活躍する様々な人・団体の協力を得ながら、様々な職業に関わる体験を通して、長門のふるさと学習を実施していきたい。



## 取り組みの様子1 地域の自然や文化に触れる活動

6月「観光船で通地区へ行こう」では、青海島観光汽船の観光船を貸し切って仙崎から通まで海を渡った。通地区では観光ガイドの皆さんに協力いただき、捕鯨に関する史跡を歩いて見に行ったり、資料館で鯨文化についての説明を聞いたりした。観光船の乗船や通地区を訪れるのが初めてという子どもが多く、船から見える景色をじっと見たり、鯨の絵が描かれたマンホールの数を数えながら歩いたり、それぞれ楽しみながら通地区の魅力を感じる機会となった。

7月「親子でシーカヤック」では、油谷青少年自然の家職員の指導の下、親子でシーカヤック体験と海遊びをした。親子で一緒にカヤックを漕いだり、家族や友達同士で思う存分海で遊んだりカニ等の生き物を探したりして、海の自然を満喫した。

10月「長門の森で遊ぼう」では、赤崎山を歩いてクイズに答えるウォークラリーを実施した。また、NPO法人「人と木」の協力で、長門市内で伐採した木を切るのこぎり体験も行った。初めてののこぎりを扱う子どもが多く、「木を切るのがこんなに大変だと思わなかった」「木が切れたら気持ち良かった」といった感想が聞かれた。

11月「花尾山に登ってみよう」では、クラブネッツ大畑にご協力いただき、親子で花尾山に登った。舗装されていない山道に登っていくのが初めての子どものもおり、貴重な体験の機会となった。また、登山を通じて家族や友達同士での交流もできた。

6月「観光船で通地区へ行こう」



7月「親子でシーカヤック」



10月「長門の森で遊ぼう」



11月「花尾山に登ってみよう」



**取り組みの様子2** スポーツを通じて交流した活動

6月「タグラグビーをしよう」では、長門市ラグビーフットボール協会の協力で、1～3年生と4～6年生に分かれてタグラグビーの指導を受け、練習試合を行った。講師陣には女子プロチームである「ながとブルーエンジェルス」のスタッフもいて、指導を受ける貴重な機会となった。また、練習試合で負けて悔し涙を流す子をチームメイトがなぐさめるような様子も見られた。

1月「ニュースポーツをしよう」では、長門スポーツ推進委員の協力で、長門生まれのニュースポーツである「パターDEピンゴ」と、「ニチレクボール（室内ペタンク）」を行った。推進委員の方に慣れないパターの使い方やボールの投げ方を教わり、少しずつ子どもたちが上達する様子が見られた。また、土曜塾のボランティアスタッフも「大人チーム」を作って「子ども VS 大人」で対戦し、世代を越えて一緒に楽しむことができた。

6月「タグラグビーをしよう」



1月「ニュースポーツをしよう」





### 取り組みの様子3 多世代で交流する活動

5月と10月に行った「深川中でいも苗植え・いもほり」では、土曜塾の小学生と、深川中学校の中学生、そしていもほりでは中山地区高齢者サロンの皆さんも加わり、農作業を通して多世代で交流する機会となった。中学生が小学生をリードしたり、サロンの方と小学生と一緒に協力していもを掘ったりする様子が見られた。中学校やサロンからも「他の世代と関わる良い機会になった」との声が挙がった。

5月「いも苗植え」



10月「いもほり」



### 取り組みの様子4 わくわく土曜塾参加者以外への取り組み

夏休みに「夏休みおたすけ・特別講座」を開き、土曜塾に参加する子どもたち以外にも、地域の方々と触れ合いながら体験する機会を提供した。

「食育講座」では、萩・長門で活動するコープやまぐちの食育活動グループによる学習を行った。「和食の秘密を探ろう」と題して、米や出汁について学んだ。米研ぎ後の研ぎ汁の色比べや出汁の試飲など、視覚や味覚などの五感を使って学ぶことができた。

「親子でプログラミング講座」では、長門市内の小学校でプログラミング学習の補助を行っているNPO法人「つなぐ」の協力の下、親子でプログラミング用ロボットを動かす体験を行った。難易度別のコース上をロボットが走れるように、「つなぐ」のスタッフの助言を受けながら親子で試行錯誤する姿が見られた。

食育



親子でプログラミング

